allcinema

沈まぬ太陽（2009）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 202分
初公開日 2009/10/24
公開情報 東宝
映倫 G

【キャッチコピー】
魂が、震える。

【解説】
『白い巨塔』『華麗なる一族』の人気作家・山崎豊子が綿密な取材の基に書き上げた渾身のベストセラー巨編を壮大なスケールで映画化した社会派ヒューマン・ドラマ。激動の昭和30年代から60年代を背景に、巨大組織に翻弄され、海外僻地への左遷や歴史的な航空事故、政界をも巻き込む会社再建といった波瀾の渦中に図らずも身を置いた主人公が不屈の信念で過酷な状況を克服しようともがく姿を通し、人間の尊厳とは何かを問いかけていく。主演は「硫黄島からの手紙」の渡辺謙。監督は「ホワイトアウト」の若松節朗。
国民航空の労働組合委員長を務める恩地元。職場環境の改善を会社側へ訴えていた彼はやがて、海外赴任を命じられる。それはパキスタンやイラン、ケニアなど、まともな路線就航もない任地を転々とさせられるという、あからさまな懲罰的人事だった。だが、恩地は自らの信念を曲げることなく、長きに渡る海外勤務を全うしていく。一方、同じく組合員として共に闘った恩地の同期、行天四郎。彼はその後、本社での重要なポストと引き換えに会社側へ寝返り、エリートコースを歩みながら恩地と対立していくこととなる。こうして10年ののち、孤独と焦燥感に苛まれた海外転勤から、ようやく本社へ復帰を果たした恩地。しかし、会社側に苦境を強いられている組合の同志たちと同じく、恩地も不遇の日々を過ごすことに。そんな中、航空史上最大のジャンボ機墜落事故が起こる。恩地は遺族係に就き、未曾有の悲劇の数々に遭遇する。また、国民航空の建て直しを図るべく政府の要請で就任した新会長から会長室の室長に抜擢された恩地の前には、さらなる苦難の道のりが続くのだが…。

【クレジット】

監督	若松節朗	
製作	井上泰一	
企画	小林俊一	
製作総指揮	角川歴彦	
エグゼクティブプロデューサー	土川勉	
プロデューサー	岡田和則	
	越智貞夫	
	井口喜一	
原作	山崎豊子	『沈まぬ太陽』（新潮社刊）
脚本	西岡琢也	
撮影	長沼六男	
美術	小川富美夫	
編集	新井孝夫	
音響効果	柴崎憲治	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

音楽	住友紀人		
エンディング曲	福原美穂		『Cry No More』
録音	郡弘道		
照明	中須岳士		
装飾	小池直美		
	三浦伸一		
出演	渡辺謙	Ken Watanabe	恩地元
	三浦友和		行天四郎
	松雪泰子		三井美樹
	鈴木京香		恩地りつ子
	石坂浩二		国見正之
	香川照之		八木和夫
	木村多江		鈴木夏子
	清水美沙		小山田修子
	鶴田真由		布施晴美
	柏原崇		恩地克己
	戸田恵梨香		恩地純子
	大杉漣		和光雅継
	西村雅彦		八馬忠次
	柴俊夫		堂本信介
	風間トオル		沢泉徹
	山田辰夫		古溝安男
	菅田俊	Shun Sugata	志方達郎
	神山繁		桧山衛
	草笛光子		恩地将江
	小野武彦		道塚一郎
	矢島健一		青山竹太郎
	品川徹		龍崎一清
	田中健		井之山啓輔
	松下奈緒		樋口恭子
	宇津井健		阪口清一郎
	小林稔侍		竹丸鉄二郎
	加藤剛		利根川泰司

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.